

古河から発信・実践「蔵美」のまちづくり

- 蔵活用実践・展開と仕組みづくりから活性化を導く - (茨城県古河市)

歴史的・文化的資源を数多く有する古河市において、まちなかに点在する蔵を集客・発信拠点として活用し、他の観光資源と組み合わせることで、魅力ある「まちなかネットワーク」を醸成し、回遊環境の整備を図る。



杉並通り

七福カレーめん

特区どぶろく



古河歴史博物館



篆刻美術館

平成21年度の主な取組

- ① 蔵を活用した市民企画の店舗やアートイベントにより、観光・集客力アップを図る。
- ② 市民ワークショップによるイラストガイドマップづくりによりまちの回遊利便性を高めるとともに、蔵めぐりツアーを実施する。

篆刻：てんこく。印章を作成する行為。中国を起源としており、主に篆書を印文に彫ることを言うが、その他の書体や図章の場合もある。



平成22年度以降の展開

蔵活用支援・マッチングシステムの構築を図り、蔵ストックの有効活用を促進する。また、蔵活用市民会議の設立及び蔵活用市民塾の開講により、蔵美のまちづくり古河を支える人材育成・組織強化を図る。

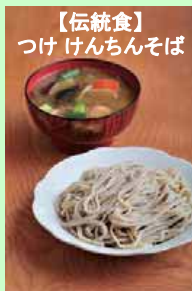
里美に根づこうプロジェクト

～地域自立型のコミュニティビジネスモデルの事業化・人材育成事業～ (茨城県常陸太田市)

標高700～800m、敷地面積520haを有する関東最大級の里美牧場を核に、高原野菜や伝統食のブランド化を図り、多様な地域資源を活用した地域自立型のコミュニティビジネスモデルを構築し、事業展開する。



里美牧場



【伝統食】
つけけんちんそば



プラトーさとみ

平成21年度の主な取組

- ① 里美地域の伝統食(秋メニュー)を観光客に食べてもらう商品づくりとマーケティング調査を実施する。また、都市農村交流による里美高原野菜の生産体験を実施する。
- ② 牧場や宿泊施設を活用した地域自立型の事業モデル構築と、事業化に向けた人材育成を図る。



平成22年度以降の展開

季節に応じた地域伝統食(春・夏メニュー)のマーケティング調査を実施する。また、地域自立型の事業モデルを本格的に試行するとともに、人材育成を行う。

茨城空港を核とした地域資源活用促進プロジェクト～空と大地と湖のセブンネット～ (茨城県小美玉市、石岡市、笠間市、かすみがうら市、行方市、鉾田市、茨城町)

茨城空港の開港を契機に、苺・メロン等の果物や人参・トマト等の野菜をはじめとした地場産品や霞ヶ浦等の観光地の資源を最大限活用し、地域ブランド力の向上を図るとともに、人やモノの新たな交流拠点という立地を踏まえた観光振興を展開する。

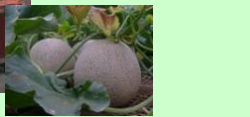
茨城空港<イメージ図>
H22.3開港予定



霞ヶ浦観光帆船曳船イメージ



観光ミニ周遊ツアー実施



農林水産物の販売



空港青空市場イメージ

平成21年度の主な取組

- ① 「空の市」として空港青空市場等を開催し、特産品や名物料理のブランド化を図る。
- ② 空港周辺観光ミニ周遊ツアーを実施するとともに、ツアーガイドやボランティアを育成する。
- ③ 空港周辺の地域資源を外国人向けにPRするツールを作成する。

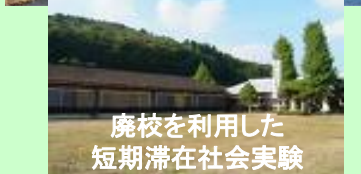


平成22年度以降の展開

「空の市」の社会実験による地場産品の更なるPR、空港来訪者に対する受入体制の充実等を行うとともに、地場産品の販売、周辺観光の拠点となる「空の駅」開設に向けた準備を進める。

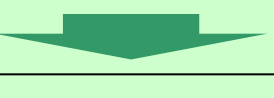
那珂川流域の里山資源を活用した農村ビジネス創出(栃木県那須烏山市)

関東随一の清流として知られる那珂川の流域に残る自然や里山等の地域資源、統廃合で生じた廃校等の未利用施設を活用することにより、モノづくりや交流人口の増加を図り、地域の活性化と雇用の創出につなげる。



平成21年度の主な取組

- ① 間伐地竹の有機肥料化、洞窟の農業利用等、里山資源活用による商品開発。
- ② 廃校等を短期滞在・二地域居住と地域福祉向上のために活用する事業モデルを開発する。
- ③ 地域と都市の交流を促進するための事業の企画と通年持続のための人材育成。



平成22年度以降の展開

里山資源活用による商品の本格開発、短期滞在・地域福祉事業及び自然体験等による親子交流事業の実証を進めるとともに、地域コーディネータを育成し、これらの取組の事業化を目指す。

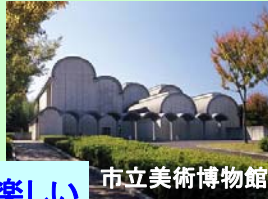
世界遺産暫定登録資源「富岡製糸場」を市民の誇りに！

「住んでよし」「訪れてよし」のまちづくり

(群馬県富岡市)

唯一無二の歴史的文化的資源である「富岡製糸場」を核に、地域が一体となり、観光を基軸とした「歩いて楽しい」「学んで楽しい」まちづくりに取り組み、来訪者の増加を図り、地域コミュニティの再構築と地域への経済効果の波及を促す。

世界遺産暫定登録資源
富岡製糸場



市立美術博物館

歩いて楽しい
学んで楽しい



県立自然史博物館



一の市

平成21年度の主な取組

- ① 市民意識を醸成するシンポジウムを開催するとともに、市民参加のまちづくりHPを立ち上げる。
- ② 1日の来訪者のピーク人数に対する交通量の導線、来訪者ニーズの調査を行い、既存の受入体制(駐車場、サイン等)の改善点を検証する。
- ③ 今後のまちづくりの象徴的なデザインを作成する。

平成22年度以降の展開

年間50万人の受入体制整備を進めるとともに、市内での滞留時間や滞在時間の確保、環境にやさしいまちづくりに取り組む。

噴火に負けない安心安全な観光地を形成・支援する防災・観光情報発信事業 ～浅間山携帯ポータルサイトの活用 1秒でも早く、1人でも多く～

(群馬県嬭恋村、長野原町、長野県小諸市、軽井沢町、御代田町)

携帯電話の浅間山倶楽部ポータルサイトを利用して防災情報や広域的な観光・イベント情報を官民一体となって収集・発信する体制を構築し、災害に強く、安全安心な観光地浅間山を内外にPRすることにより、来訪者の増加を実現する。

公共団体

防災情報

登山者観光客
地域住民
別荘居住者

浅間山倶楽部
ポータルサイト

民間団体

広域観光情報

平成21年度の主な取組

- ① 登山者、観光客、地域住民、別荘居住者を対象とした防災情報・観光情報提供の実証実験を行い、課題・ニーズを把握する。
- ② 観光協会や地元観光業者等によるワークショップを行い、広域観光情報発信のための体制づくりを進める。

平成22年度以降の展開

浅間山倶楽部ポータルサイトの本格的な運用を目指し、主体となって運営する活動団体の人材を育成するとともに、広域的な観光情報の発信体制を構築する。

高度医療拠点を契機にした健康ツアー(ウェルネスツーリズム)

整備事業化プロジェクト (群馬県前橋市を中心とした周辺地域)

最新装置による「切らずに治す」重粒子線がん治療等の健康情報発信と病院・周辺温泉地が連携した「ウェルネスツーリズム」を一体的に実施することにより、健康に対する市民の意識の高揚を図りつつ、健康医療都市の形成を図る。



平成21年度の主な取組

- ① 群馬大学医学部等と連携し、医学的見地の深いウェルネスツアーを実施する。
- ② 中心市街地に設置する「いきいきまちなちの駅」を拠点として、ツアーと連動した健康講座や重粒子線がん治療等について情報発信し、交流を促進する。
- ③ 健康増進プログラムの指導・助言を行う「健康マイスター」を育成する研修会を実施する。

平成22年度以降の展開

「ウェルネスツーリズム」や重粒子線がん治療施設等高度先進医療を核としたツーリズムの事業化を図るとともに、情報発信拠点「いきいきまちなちの駅」の充実を図る。

繊維、食等による「桐生ブランド商品」づくりと人材育成(群馬県桐生市及び周辺地域)

繊維の街として栄えた桐生ならではの「地域資源」を有効活用した産業活性化策を実施するため、繊維と食の分野での商品開発や人材育成を行うとともに、桐生を代表する「魅力溢れるモデル地区」の整備など、「桐生ブランド」のイメージ向上を図る。



平成21年度の主な取組

- ① 繊維に関する売れる商品づくりと技術者育成、食における桐生名物づくりと起業家育成を行う。
- ② 伝統的建造物、歴史的街並み等を活用した魅力発信拠点づくりのため、まちづくり事業計画を作成し、にぎわい創出に向けた戦略的取組みを行う。

平成22年度以降の展開

新たな「売れる商品」開発を進めるとともに、継続的な人材育成システムの確立を目指す。また、桐生の魅力発信拠点づくりを本格化し、桐生の魅力のPR、ファン獲得等を通じて、地域外から人が自然と集まってくる仕組みを構築する。

健康アグリ道場

～豊かな暮らしの原風景 取りもどせ昔の自然と心と身体！～（埼玉県本庄市、美里町、神川町、上里町）

都心からの利便性の良い地の利を活かし、行政・NPO法人・大学等が連携して、農業未経験者にも受け入れやすい健康管理を取り入れた新しい農業を生み出し、観光客や都市間交流人口の拡大を図り、参加者の健康と地域活性化に取り組む。

日帰り農業体験(イメージ)

健康づくり教室(イメージ)



アグリエクササイズによる
保健指導



平成21年度の主な取組

- ① 昔ながらの農法で体を動かし、健康的な食生活で健康な体を取り戻すアグリエクササイズを科学的手法により検証・構築する。
- ② 日帰り農業体験、環境学習、アグリポイントの発行等を行い、交流人口の増加を図る。

健康と農業を組み合わせた地域活性化

平成22年度以降の展開

農作業体験の観光化を進めるとともに、健康特産品の開発・販売、地域の高齢農業従事者への支援や担い手となるボランティアの組織化を図っていくことで、持続的な事業へと展開させる。

江戸前文化が育てる『みなとまち木更津』復興プロジェクト

—“お江戸日本橋”と“上総木更津”のコラボレーション—（千葉県木更津市、東京湾、東京都中央区）

交通アクセスにおける高いポテンシャルや、かつての「みなとまち」としての文化・歴史を活かし、人材育成や「みなとまち文化」の再生を地域一丸となって取り組むことにより、「みなとまち木更津」の復活を目指す。

「みなとまち大学校」の開設

「みなとまち体験プログラム」の開発

木更津もてなし楽部(3コース)
江戸前漁師楽部(4コース)

観光情報の発信

現代版
「木更津河岸」(日本橋)の開設
「さかんだな」(木更津)の開設



伝統的和船「打瀬舟」



上総木更津海上

平成21年度の主な取組

- ① 「みなとまち大学校」を開設し、おもてなし機能や伝統技術伝承等を担う人材育成を図る。
- ② 「みなとまち体験プログラム」を開発し、交流人口の増加等を図る。
- ③ 現代版「木更津河岸」(日本橋)、「さかんだな」(木更津)等を開設し、観光情報の発信を行う。

「みなとまち」としての文化・歴史

平成22年度以降の展開

「みなとまち大学校」での人材育成や「みなとまち体験プログラム」を継続するとともに、「打瀬舟」の復活・観光事業化、木更津の特産品や魚介類のブランド化、「木更津河岸」「さかんだな」等の本格的な事業化を図る。

クロススポーツで描くまちづくりプロジェクト

きよなん
(千葉県鋸南町)

温暖な南房総・鋸南の手つかずの海・山の大自然を活かした健康で安全なクロススポーツ環境を提供するとともに、スポーツを通じた環境教育や賑わい創出など SportsTownとしてのビジネスモデルを構築し、新たなまちづくりを目指す。



スポーツを通じた
環境教育や賑わいの創出



トレイルランニング



トライアスロン



オープンウォーター
スイミング

平成21年度の主な取組

- ① 海山陸の自然をフィールドで活用したクロススポーツのテストイベントを実施する。
- ② グランドデザイン及び事業計画を策定するとともに、町ホームページをリニューアルし、町ブランドイメージを発信する。

平成22年度以降の展開

公認コースづくりや本格的なイベント・大会の開催などクロススポーツを通じたビジネスモデルを誕生させ、地域経済活動を活発化させるとともに、既存の地域資源を活用した単なるスポーツ場の提供に終わらないまちづくりを目指す。

京浜地域と連携したアクアライン・圏央道の活用による 田舎ぐらし定住・二地域居住モデル事業

(千葉県いすみ市)

圏央道の整備による交通利便性の向上を活かすとともに、豊かな自然環境の残る地域の良さを発信し、移住しやすい環境づくりを進めることにより、都心通勤型の田舎ぐらし人口の増加や地域の活性化を図る。



田園風景



万木城跡公園



太東崎



平成21年度の主な取組

- ① ストーリー性のある広域観光コースを決定し、いすみ市の魅力を高める。
- ② 新旧住民の連携・協力による新しい定期「市」を開催し、定着化を図る。
- ③ 首都圏住民のニーズに合った自然共生型の住宅と田舎暮らしの生活サービスを提供する。

平成22年度以降の展開

市内事業を継続しながら、外房地域への広域的な事業展開や移住のための受入体制の強化を図り、定住・二地域居住人口の増加や京浜地域と外房地域の交流の活発化を実現する。

地元力を活かした団地学校の開設による自立型元気住宅づくり（千葉県千葉市）

同時期入居による急速な高齢化などの問題をもつ団地において、地域活動意欲が旺盛な専門職業能力を有する定年後の住民等の能力を最大限に活用し、居住者が安心・安全に住むことができる魅力ある自立した地域づくりを行う。

活力がなくなりつつある団地



自立型元気住宅づくり



平成21年度の主な取組

- ① 中高年男女を中心とする市民講師を発掘し、体験型の講習を実施する。
- ② 近隣型ショッピングセンターの空き店舗等を活用した生活文化や地域文化の育成拠点である「団地学校」の運営と拠点のネットワーク化を図る。

平成22年度以降の展開

利用頻度の少ない集会場や空き店舗を対象とした団地学校の拡大展開、講座の充実、運営を担うリーダーの育成等により、地域の認識度を高めつつ、運営体制の強化を図っていく。これら取組によって事業を軌道に乗せ、ベッドタウンの団地を自立型住宅地に転換する。

生活習慣病から市民を守る健康の駅づくり

～e-ウエルネスステーションプロジェクト～（千葉県流山市）

生活習慣病予備軍の中年層が駅やショッピングセンター（SC）で気軽に健康づくりができる環境を産学官の連携により整えることで、健康でいきいきと生活できるになれる街づくりの実現と健康サービスを提供するコミュニティビジネスの創成を図る。

TX駅・SCを拠点とした
e-ウエルネスステーションの仕組み



平成21年度の主な取組

- ① 働き盛りの中年層の健康意識の向上のため、市民向け体験型健康イベント等を実施する。
- ② オーダーメイドの運動・栄養プログラムを実践し、自分の健康データの可視化を簡単に継続的に確認できる「e-ウエルネスステーション」を駅やSCに設置し、実証実験を行う。
- ③ 継続的拡大に向けて医学的・経済的評価を実施する。

平成22年度以降の展開

「e-ウエルネスステーション」の設置範囲を拡大して事業の継続的な展開を図るとともに、その受け皿となる健康サービスを提供するコミュニティビジネスの実現を図る。

公民学連携による都市農業と共存する田園都市づくり

(千葉県柏市)

「安全な食の確保」という市民の要求を踏まえ、生産緑地が多く残された地域景観を活かしつつ、公民学連携のもと、日本ならではの都市と自然が融合したコンパクトシティ「環境と共生する田園都市」の構築を目指し、「農あるまちづくり」を推進する。



高架下に「環境コンビニエンスステーション」を開設



ガイドラインに基づく「農ある景観形成」

体験農業<イメージ>



小かぶ

平成21年度の主な取組

- ① 生産緑地を活用した体験農業や農業講座など都市型農業の実践支援を行う。
- ② 「農あるまちづくり」の拠点として農産物直売所機能等を持つ「環境コンビニエンスステーション」を開設する。
- ③ ワークショップ等の活用による住民周知を展開し、「景観ガイドライン」に基づく「農ある景観形成」を図る。

平成22年度以降の展開

都市型農業の実践支援を行う「農園センター事業」の継続的なシステム化を目指すとともに、「環境コンビニエンスステーション」を本格化し、拠点機能の充実と施設利用の活性化を図る。さらに「景観ガイドライン」に沿った「田園都市」における農地を生かしたまちづくり手法を推進する。

都市部における高齢化する団地の活力再生プロジェクト

(千葉県船橋市)

高齢化が急速に進む団地において、食などの日常生活機能の維持・賑わいを取り戻す子育て支援などをNPOや企業等の地域のネットワークを活用して取り組み、「高齢化する団地が活力を持って維持発展するモデル」の構築を目指す。



住民に食材を届ける「パーソナル予約ボックス」



時間外学童保育

平成21年度の主な取組

- ① 冷蔵ロッカーを活用した『出前市場』事業の検討とモデル店舗の実証実験の実施
- ② 緊急時間外保育を担うアフタースクール事業の人材育成とパイロット事業の実施
- ③ 障害者の一般企業への就労を支援する「チャレンジ工房」の開設に向けた人材育成と試行的事業の実施

平成22年度以降の展開

企業や福祉作業所との連携による出前市場事業を本格化するとともに、NPOと公設学童・保育園のタイアップによる時間外学童保育・緊急保育の事業や障害者向け事業所事業を展開する。

地域力増進・協働型まちづくりホスピタル事業

(千葉県北西部)

大都市圏郊外部のコミュニティ再生に向けて、NPO・企業・大学などの連携による的確な地域診断と症状に応じた助っ人・情報の提供システムを構築することにより、自律的で持続可能な住民主体の地域づくりを目指す。



地域づくりの匠道場
<イメージ>



ワークショップ
<イメージ>

現地調査<イメージ>



交流会<イメージ>

平成21年度の主な取組

- ① 地域づくりの専門家や企業CSR担当者やNPO等の実践団体が出会い、協働関係を創出する場を設置するとともに、具体的な地域において、処方箋づくり・ワークショップ等を行う。
- ② 実践投入を前提として地域づくりの現場に必要なファシリテーション技術とプロデュース能力を養う「地域づくりの匠道場」を設置し、人材育成を行う。

平成22年度以降の展開

21年度の成果を産官学民で検証し、連携関係の充実を図る。また、地域づくり支援メニューを体系化し、支援実施件数の拡大に対応できるシステムの構築を図るとともに、ソーシャルビジネスとして自立的に行うことを目指す。

16歳の仕事塾プロジェクト

(東京都)

進路を考えるための情報や知識を得る機会の少ない高校一年生に対し、社会人や定年退職者等の地域の大人に職業観や自己キャリアを話してもらうことにより、仕事に対する無限の可能性を実感できるキャリア教育システムを構築する。



高校への社会人講師の派遣



学校以外の施設でのものづくりに関与する機会の提供<イメージ>

平成21年度の主な取組

- ① 地域の高校と企業をつなげ、高校へ社会人講師を派遣することにより、仕事に対する興味や希望を持ってもらう。
- ② 学校外の施設でシンポジウムや講演会を開催し、企業の最先端技術に触れたり、エンジニアや著名人の話を聞くことで、自分の将来の可能性を実感してもらう。

平成22年度以降の展開

活動エリアを神奈川・埼玉・千葉にも広げ、社会人講師派遣やシンポジウムの開催頻度を拡大するとともに、「高校—大学(専門学校)—企業」という、新たな「学校から仕事」への連携システムを構築していく。

都市住民が安全で美味しいものを食べ続けるためのプロジェクト

(東京都北区)

安心・安全・美味しい「食」を求める都市住民と、それを提供したい生産者を結びつけ、都市と地方の交流を図ることにより、商店街の活力や雇用の創出と「売れるモノづくり」による産地の活性化を目指す。



平成21年度の主な取組

- ① 食材の生産方法や郷土料理を生産地が紹介・試食・販売するイベントと商店街の小売店・飲食店とのマッチング商談会を同時開催する。
- ② 郷土料理等をヒントに都市住民の嗜好に合う料理を大学と連携して開発する。

都市側 ← WIN-WIN → 生産者側

平成22年度以降の展開

生産地と連携した顔の見える安心な食材の販売や、食育に関するイベントを実施する「(仮称)食育ステーション」を商店街の空き店舗に整備し、都市住民と生産地との持続的な交流を推進する。

YOKOSO! ASAKUSA 外国人観光客の安心向上プロジェクト

～災害時にも安心のおもてなし～

(東京都台東区)

外国人観光客が多数訪れる浅草において、外国人を対象とした災害時対策として地元商店等のネットワークを利用した安心のおもてなしを実現し、外国人観光客の誘客促進を図る。



平成21年度の主な取組

- ① 地域住民から外国語を話せる人材・学びたい人材を発掘し、災害時の緊急避難誘導を含めた外国人のおもてなし向上研修を行う。
- ② 災害時の緊急対応を掲載した外国人観光客向けの安心まち歩きガイドブックを作成配布する。

平成22年度以降の展開

浅草外国人観光客安心向上プロジェクト推進協議会を設立し、おもてなし外国語研修や避難誘導訓練を定期的実施する。外国人観光客に安心・安全な“ASAKUSA”をアピールし、外国語が通じる観光地のモデルケースとして確立させる。

地域・5大学連携による「社会起業支援大学」プロジェクト

(東京都足立区)

地域の5つの大学を軸に、人と人、人と地域、大学と地域が「社会起業」をテーマにつながる「産官学民」の地域プラットフォームとなる「社会起業支援大学」を開設し、地域にとって有益な人材・事業の輩出・醸成、地域資源の社会起業(ビジネス)化を実現する。

放送大学
東京藝術大学
東京未来大学
帝京科学大学
東京電気大学

社会起業家養成研修



地域資源再生ゼミの実施



平成21年度の主な取組

- ① 社会起業のための人材育成と、地域資源の発掘をゼミ形式で行う。
- ② 社会起業家のハンズオン支援体制を構築し、社会性と事業性のバランスのとれた育成を支援する。

平成22年度以降の展開

社会起業家の育成やハンズオン支援を強化するとともに、「産官学民」地域プラットフォームを社会起業として自立させる。

東京低地の防災力向上プロジェクト

一舟運観光力を舟運防災へ転化するモデル構築一

(東京都墨田区、江東区、江戸川区)

舟運・河川を活用し、災害時に適切な救助活動や被災者の支援、迅速な復旧・復興活動が行える地域づくりを推進するため、人材の育成や防災体制の充実により、舟運観光の人材や施設の蓄積を舟運防災に転化するモデルの構築を図る。

船による扇橋閘門体験



対象地域の河川



平成21年度の主な取組

- ① 河川の魅力づくりや舟運観光イベントなどの舟運観光の充実
- ② 舟運観光ガイドや舟運事業者を対象とした舟運防災スタッフ講習会の開催
- ③ 平常時の舟運防災拠点を活用した市民への周知活動の展開

平成22年度以降の展開

「舟運観光の自立」及び「舟運防災の充実」に関連した事業を実施するとともに、観光と防災の複合的取組のプラットフォームの役割を担う協議会の法人化に取り組み、東京低地の防災力向上と地域活性化を目指す。

「商都・町田」と「全国2番目のサッカーの町」の相乗プロジェクト

(東京都町田市)

FC町田ゼルビアのJリーグ昇格を街全体で支援し、スポーツ・商店街・高齢者・スポンサー企業が一体となって地域コミュニティを構築することにより、「誇れる町田」づくりを目指す。

すきまちカード

すき・まちポイント加盟店

すき・まち

POINT

町田街商店会連合会

当店で

ポイントがたまる!



スタジアムへの直通バス運行



平成21年度の主な取組

- ① 駅からスタジアムへの直通バスの運行により、市内外からの入場者の足を確保し、その増加を図る。
- ② スタジアム周辺広場において、お祭り空間を演出し、幅広い層に支持を拡大する。
- ③ ゼルビアと提携した商店会ICカード「すきまちカード」の保持者・加盟店舗の拡大を図る。

平成22年度以降の展開

平均入場者数やすきまちカード保持者・加盟店の増加を図り、自立した経営体制を構築する。また、ゼルビアを介して「市民が一体になれる場」を提供していく。

新観光都市構想「エコと健康のある街・横浜【自遊散策】観光新探検」プロジェクト

(神奈川県横浜市)

「エコ、健康の増進」と「地域振興」をコンセプトとして、利用者の目線に立ったサイクル・ネットワークを構築し、観光行動範囲の拡大と自由度を高め、観光入込数の増大と地域産業・商店街の振興、駐車・駐輪等の地域問題の軽減化を図る。



平成21年度の主な取組

- ① 観光用の電動アシスト付自転車のレンタル体制を確立する。
- ② 横浜の新観光探索と新たな観光資源の発掘、自転車で満喫できる新観光ルートの特案等の普及啓発を行う。

平成22年度以降の展開

観光行動起点としてのサイクル・ポートを増やすとともに、関係団体等との連携による本格ビジネス事業化を推進する。

知の共有・選択肢の拡大・行動促進による市民力発揮の脱温暖化プラットフォーム

「ヨコハマ・エコ・スクール」リーディングコンテンツ創生事業（神奈川県横浜市、山梨県道志村、長野県飯田市、駒ヶ根市）

ヨコハマ・エコ・スクール(YES)による、農山村の魅力「知る・使う・伝える」輪づくりやエコドライブ普及支援キャラバン活動を通して、市民による環境にやさしい商品・サービスの選択行動により形成されるエコライフを環境モデル都市横浜から発信する。

農山村の魅力「知る・使う・伝える」輪づくり

エコドライブ普及支援キャラバン活動



農林業体験ツアー

道志村・水源の森



車載データロガ

エコドライブ簡易診断
パソコンにて自動診断結果を出力

平成21年度の主な取組

- ① 市民・市内事業者による水源涵養等の農林業体験ツアーの開催、市内大型イベント会場等での農山村の地域物産購入機会の提供
- ② 簡易診断ツールを用いたエコドライブ体験イベントの実施やエコドライブの普及支援プログラムの提供

2つのリーディングコンテンツを推進し、YESムーブメントを加速化

※ヨコハマ・エコ・スクール(YES)：統一ブランドを冠したNPO、事業者、大学による環境学習機会のネットワーク

平成22年度以降の展開

自立的な運営確保による都市・農山村間の市民間交流の流れを確立するとともに、エコドライブの取組の市内全域への拡大、さらには他自治体・世界への普及拡大を図る。

かわさき・神奈川地域資源(ロボット)活用プロジェクト

～ロボットテクノロジーに着目した試作・ものづくり体制の構築実証試験～（神奈川県川崎市及び県下の市町村）

戦略的な商品開発のサイクル形成による生産性向上と市場創出の“しかけ”として、ロボット関連技術の活用による戦略的な商品開発の体制を構築し、新商品開発や起業促進を図り、地域活性化をめざす。



情報交流会<イメージ>



かわさきロボット競技大会

平成21年度の主な取組

- ① 商品開発に向けた事例研究及び情報交流会の開催
- ② 試作開発プロジェクトの推進
- ③ コーディネータによる販売計画の策定と販路検証
- ④ 安全性やビジネス面の完成度等の評価検証

平成22年度以降の展開

新たな連携先として鉄道事業者・大型商業施設管理者等のユーザー候補との協力関係を構築するとともに、産業観光分野でのロボットの貢献可能性について検証し、市場の創出拡大に伴い民間の自発的な取組へと展開する。

循環型農業と着地型観光の融合による通年型農業・観光事業の推進

(山梨県山中湖村)

余剰ウッドチップや耕作放棄地をはじめとした地域に眠っている未活用資源を有効活用し、農業を核に観光と農業を多面的かつ有機的に連携させることで、通年型の農業・観光事業を推進し、観光一辺倒の構造からの脱却を図る。



農業・観光をつなぐ人財育成



高原野菜・果樹・花卉の試験栽培と販売基盤整備

ウッドチップ活用

平成21年度の主な取組

- ①農作業体験を組み合わせた農業技術ワークショップにより、農業を核とした地域振興に貢献できる人材を育成する。
- ②山中湖村農業・観光統一ブランドを全国に普及・販売する「山中湖村ブランド伝道師」を育成する。
- ③余剰ウッドチップを活用した土壌改良と冬季ハウス栽培の熱源確保により、通年循環型農業を実現するとともに、販売チャネルの開拓等を行う。

平成22年度以降の展開

循環型農業および着地型観光の連携による地元経済活性化のための取組みを実施する。農業分野について農業生産法人へ全業務を移管し、山中湖観光協会をはじめとした地元観光業者と双方連携しながら通年型農業・観光事業の本格展開・収益化を図る。

～次世代エネルギーパークから発信するやまなし型低炭素社会～

参加・協働・連携による「学ぶ交流事業」の立ち上げ

(山梨県山梨市)

全国唯一の3種類のバイオ燃料の製造設備が隣接する特徴を活かし、次世代エネルギーパークを核とした学びと体験の場を提供し、地域一体となった低炭素社会の構築、開かれた交流による地域の発展及び誇りのもてる地域づくりの実現を目指す。



バイオディーゼル燃料製造施設



エコツアー



平成21年度の主な取組

- ①大学との連携により、次世代エネルギー等の学びの場となるバイオマス・テクニカル・スクールを立ち上げる。
- ②エネルギーや低炭素社会構築の観点で構成するエコツアーとバイオマス・テクニカル・スクールを組み合わせた学ぶ交流プログラムを立ち上げる。



BDF

バイオディーゼル燃料

BTL

バイオマス トウ リキッド

バイオオイル

次世代エネルギー等の学びの場

平成22年度以降の展開

バイオマス・テクニカル・スクールやエコツアーを拡充・実施しながら、事業の継続・発展に向けた組織・体制の確立や人材育成等に取り組み、「学ぶ交流事業」としての定着と確立を図っていく。

やまなし企業ファームリーグ結成運営事業

～全国第2位の山梨の耕作放棄地を宝に変える～（山梨県）

耕作放棄地を保有する地域側、耕作放棄地活用に関して多様なニーズが存在する企業側の双方が参画しやすい仕組みを構築し、農山村に眠る耕作放棄地等を活用した農村の活性化・振興を突破口として、山梨全体の元気再生を図る。

【地域】



地域と企業の
ニーズを
マッチング

【企業】



平成21年度の主な取組

- ① 県内の5つのファームチーム毎に耕作放棄地活用の事業化実践計画を策定するとともに、企業参加の耕作放棄地等視察マッチングツアーを実施する。
- ② 地域と共存する企業農業を推進する受皿として、やまなし企業ファームリーグを設立する。

地域ファームチームの運営（イメージ）

平成22年度以降の展開

各ファームチーム毎に企業と連携した耕作放棄地活用の実験事業を行うとともに、やまなし企業ファームリーグを法人化し、本格的な自立運営につなげる。

やまなしキッズカンパニープロジェクト

（山梨県）

地元企業と県内小中学生をマッチングして編成したキッズカンパニーチームにより、「中心街キッズマーケット」や「キャラバンツアー」を実施し、やまなしブランド活性化の担い手づくりを目的とした「やまなしキッズカンパニー」という地域応援団を形成する。



キッズマーケット



ワインジャム
積み木(間伐材)
ぶどうの焼酎

地域資源を活かした商品

平成21年度の主な取組

- ① 中心商店街のイベントに合わせ、地域資源を活かした商品を販売する「キッズマーケット」を開催する。
- ② やまなしの地域資源を活かした商品のPRのため、全国各地でキャラバンツアーを実施する。

平成22年度以降の展開

地域応援団「やまなしキッズカンパニー」による店舗の事業化を推進する。また、全国各地でキッズカンパニーを誕生させる計画を展開し、連携による波及効果を創出する。

八ヶ岳を深く楽しむ「八ヶ岳エコソムリエ」プロジェクト

(八ヶ岳南麓地域(山梨県、長野県))

八ヶ岳南麓地域の魅力を発信できる人材「八ヶ岳エコソムリエ」を育成し、地域資源の情報発信機能の強化を図る。また、自然景観・農村景観の保全や観光コース・ツアーの企画・運営等の環境整備を継続的に実施する体制を確立する。

「エコソムリエ」の養成



観光コース・ツアーの企画・運営等

平成21年度の主な取組

- ① 八ヶ岳の自然や歴史を伝えるガイド「エコソムリエ」の養成のための体制づくりと、一般向けの八ヶ岳入門講座を開講する。
- ② 自然を楽しむパーク&ウォークコースや訪れる人と地元住民の交流を促進するための体験プランを策定する。

平成22年度以降の展開

八ヶ岳エコソムリエ講座を開講し、人材育成を本格化するとともに、収益事業の本格展開を図るため、協議会を一般社団法人化し、自立に向けた運営体制を構築する。